

被爆80周年の取組について（概要版）

1 趣旨

世界では各地で紛争が発生・長期化し、核兵器使用のリスクが懸念されていることに加え、核保有国において核兵器の近代化や増強が図られるなど、緊迫した情勢が続いている。

そのため、本市では、市民社会において核兵器のない世界を目指すという総意を形成し、世界規模で核抑止論からの政策転換を押し進めるような大きな潮流を作り出していく必要があると考え、平和首長会議に加盟する国内外の都市と共に、平和文化の振興を図るための取組を進めている。

こうした中、令和7年（2025年）に被爆80周年を迎えることになるが、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の重要性と、それを推進していくことの必要性は、従来にも増して大きくなっている。また、令和5年5月に本市においてG7広島サミットが開催されたことにより、「核兵器のない世界」の実現を目指すヒロシマの存在が世界に向けて発信され、本市のこれまでの取組の重要性が再確認されたところである。

こうしたことから、被爆80周年は、これまでも行ってきた「原爆死没者の慰霊と被爆者の援護」に、「平和文化の振興」を柱の一つに加えた上で、六つのテーマに沿って記念事業を実施する。

また、こうした取組に当たっては、戦争経験者や被爆者の高齢化が進展している現状を踏まえて、次世代の平和文化の担い手を育成する観点に立って、若い世代の主体的な取組や積極的な参画を促し、「ヒロシマの心」を次世代につないでいくとともに、国内外の都市との連携の輪を広げていくことが重要となっていることにも留意しながら進める。

あわせて、記念事業を含めた被爆80周年の取組の機運を高めるため、ロゴマーク等を活用した周知に努めるとともに、被爆80周年を契機として、芸術文化活動やスポーツ活動を始めとした平和文化の振興に資する取組を、行政だけでなく市民や企業等も含めた全市民的なものとして展開していくため、これまでも増して民間主体の取組への支援を行っていく。

2 基本方針及び実施事業

(1) 被爆80周年記念事業の実施

※第一次取りまとめ（令和6年2月）から追加した事業に下線を引いている。

ア 原爆死没者の慰霊と被爆者の援護（4事業）

被爆80周年の節目を迎え、国内外から一層多くの参列を得て原爆死没者を慰霊するとともに、高齢化が進む被爆者の援護に引き続き取り組む。

<主な事業>

○ 平和記念式典開催

来賓の充実、平和首長会議役員都市の青少年代表などの招へい、長崎市と連携した広報の充実等

○ 原爆供養塔の公開

供養塔を修繕の上、納骨室を報道機関に公開

<その他の事業> 2事業

平和記念式典への在外被爆者等の招へい、被爆者との交流促進等事業の実施

イ 平和文化の振興

(ア) 文化芸術活動・スポーツ交流による平和の実感（22事業）

被爆80周年の節目に、文化芸術やスポーツのイベント等を実施し、参加者が平和であることに思いを馳せることができる機会を提供する。

<主な事業>

○ 広島平和ミュージカル等の開催

ホノルルのこどもたちによる平和ミュージカル公演、ホノルルと広島の子どもの共演による音楽祭の開催

○ ファミリーミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」の開催

広島市出身作家の著作を題材にした「平和」と「幸せ」をテーマにしたミュージカルの開催

○ 被爆ピアノによる慰霊演奏会の開催

市民グループによる原爆死没者慰霊碑前での慰霊演奏会の開催

○ 「アーバンフューチャーズ広島」の開催支援

アーバンスポーツの競技大会等の開催支援、選手による原爆死没者慰霊碑への献花の実施

○ 「第 64 回 1000 万人ラジオ体操・みんなの体操祭」の開催

「1000 万人ラジオ体操」を被爆ピアノの伴奏により開催

＜その他の事業＞ 17 事業

- (音 楽) 平和のタベコンサートの開催、被爆 80 周年広島交響楽団特別定期演奏会の開催、広島ウインドオーケストラ平和定期演奏会の開催、平和芸術団の海外派遣、マーガレットコンサートの開催、「紙屋町まちかどピアノ」のラッピングデザインリニューアル
- (芸 術 等) オロチ・神楽とオーケストラの協演-平和の舞 2025 “鎮魂と再生”-被爆 80 周年公演、現代美術館特別展の開催、広島ゆかりのアニメーション 2025 上映会の開催、広島国際映画祭の開催、障害者ピースアート事業の実施、I P R A Y 2025 の開催、東京ガールズコレクションを活用した広島の魅力発信
- (スポーツ) 観音新町運動広場開場記念競技大会の開催、広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催、姉妹都市との青少年交流事業、レジェンドサッカーチャリティーマッチの開催支援

(イ) 平和への思いを共有する学習や活動の機会の提供 (24 事業)

次世代の平和文化の担い手の育成が求められている現状を踏まえ、青少年への平和教育や、市民や来訪者が平和について学ぶことができる場の提供などに積極的に取り組む。

＜主な事業＞

○ 似島歓迎交流センターの歴史平和資料等の展示スペースリニューアル

戦争遺構等の紹介パネルなど、展示内容等の充実

○ 若い世代による被爆地での平和学習に対する支援

全国の自治体による若い世代の平和記念式典等への派遣経費の支援

○ 平和のためのダイアログ・イン・ザ・ダーク広島の開催

「平和と信じること」について考えるための体験イベントの開催

○ 国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展の開催

国連大学において、被爆の実相を示す写真ポスターの展示や被爆体験講話等を実施

＜その他の事業＞ 20 事業

(平和教育)

国連軍縮研究所(ユニディール)による講演会及び研究交流会の開催、

青少年を中心とする平和文化イベントの開催、平和関連図書目録の作成等 (中央図書館・こども図書館)、

若者による平和の誓いの集いの開催、「広島・長崎講座」設置協力プログラムの実施、

国連訓練調査研究所(ユニタール)の研修プロジェクトに対する支援、

広島・長崎市児童生徒平和のつどいの開催、『「命の水」～ひろしま水道物語～』による被爆体験の伝承、

こどもたちによるヒロシマの継承と発信、小・中・高校生による文化の祭典

(平和イベント)

各種施設における被爆、復興、平和にまつわる展示・上映等

(平和記念資料館、映像文化ライブラリー、旧日本銀行広島支店、郷土資料館、江波山気象館、交通科学館等)

(ウ) まちの姿を通した平和への願いの発信 (7 事業)

景観や建築物などまちの姿を通して平和への願いを発信できるよう、ハード・ソフト両面での事業を実施する。

＜主な事業＞

○ 西平和大橋歩道橋の整備

戦災復興期に建設された西平和大橋に歩道橋を整備

○ 平和大通りの利活用の推進（平和大通りへの芸術作品の設置等）

平和大通りにおいて、平和をテーマとした芸術展を開催、芸術作品を設置

○ 京橋の復元

被爆橋の一つである京橋の高欄・親柱等を架設当時の青銅製に復元

＜その他の事業＞ 4 事業

毛利輝元没後 400 年記念事業の実施～はじまりの天守、つなぐ広島城三の丸歴史館～、
広島の誇りある景観まちづくり形成プロジェクト、アートラッピングを施したスマートごみ箱の設置、
基町写真展の開催

(イ) 被爆の実相を自分のこととして受け止める環境づくり（8 事業）

戦争経験者・被爆者の高齢化を踏まえ、被爆の実相を伝える被爆建物や被爆樹木の保存・活用の
取組、新たなデジタル技術を活用した被爆体験の継承活動などに積極的に取り組む。

＜主な事業＞

○ 被爆樹木の再生利用

剪定枝等の活用に取り組む団体を募集して有効活用の取組を実施

○ AI・VRを活用した被爆体験の継承

証言ビデオ等の既存資料を基に、AIなどのデジタル技術を用いた新たな被爆体験の継承、
原爆投下時の悲惨さや現在の広島状況を疑似体験できるVRゴーグルの活用

○ 平和記念資料館東館1階「情報コーナー」のリニューアル

核兵器廃絶を求める国際的な動向に関する最新情報の紹介など、展示内容をリニューアル

＜その他の事業＞ 5 事業

国内ジャーナリスト研修、国内原爆・平和展の開催、被爆体験記集の作成・配付、
平和記念資料館の混雑対策、平和記念資料館のこども向け展示の整備

(オ) 平和都市としての国際的な認知度の向上（15 事業）

被爆 80 周年の節目に、国際的な交流イベントの実施や、国内外に向けた平和メッセージの発信な
どに積極的に取り組む。

＜主な事業＞

○ 若者による相互理解・交流促進事業の実施

ホノルルの若者を本市に迎え、若者同士の交流や被爆者を交えた意見交換等を実施

○ 平和に関するシンポジウムの開催

国内外の専門家等を招聘し、平和や核兵器廃絶等について考えるシンポジウムを開催

○ 広島・長崎連携観光キャンペーン事業の実施

長崎市と連携した平和文化の発信を始めとするプロモーション、平和学習を取り入れた新たな
観光プログラムの造成等を実施

○ 大阪・関西万博開催期間における平和の発信力の強化

大阪の平和博物館「ピースおおさか」において、長崎市との共催により原爆・平和展を実施、
関西圏の平和首長会議加盟都市と連携して原爆ポスター展等を実施

○ 第 63 回パグウォッシュ会議世界大会の開催支援

核兵器廃絶を始めとする科学と社会の諸問題について科学者が議論する世界大会の広島開催を支援

＜その他の事業＞ 10 事業

（国際交流）国際フェスタの開催、姉妹・友好都市記念イベントの開催、

「オリーブの木」記念植樹式の開催、青少年国際平和未来会議の開催

（その他）「平和記念都市広島誕生」の編集・発行、平和文化月間におけるイベントの開催、

広島プレスツアーの実施、ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催、第 11 回平和首長会議総会、
ピースツーリズム推進事業の実施

(2) 市民等が主体となって行う「平和文化の振興」に資する取組への支援

市民等が主体となって行う「平和文化の振興」に資する取組への統一的な支援として、被爆 80 周年のロゴマークの使用や本市ホームページ等での取組発信、キーミュージックの活用などにより、被爆 80 周年記念事業と一体感のある周知協力等を行う。

【参考】

(1) ロゴマーク

国内外に向けて、被爆 80 周年であることを分かりやすく伝えるとともに、被爆の惨禍を経験した長崎市と連携して一体感をもって P R を図っていくため、記念事業の一つでもある広島・長崎連携観光キャンペーンのロゴマークを基に設定する。

【日本語版】



【英語版】



【日本語・英語併記版】



(2) キービジュアル

令和 7 年 3 月末頃公開予定

(3) キーミュージック

市民を始め、国内外からの多くの来訪者とも平和への思いを共有できるようにするため、本市を世界平和の原点にしようという願いを込めて昭和 22 年 8 月 6 日に開催された「平和祭」に向けて作成され、今日の平和記念式典まで歌い継がれている「ひろしま平和の歌」をキーミュージックに設定する。

<ひろしま平和の歌>

※QRコードを読み込むと、それぞれの広島市公式Y o u T u b e 配信に遷移する。

<日本語版>



<英語版>

